

パテック フィリップ ジュネーブ
Watches & Wonders Geneva 2022
2022年3月30日

パテック フィリップ、驚異的な技術的壮舉と多彩なデザインの新解釈を含む12点のニューモデルを発表

《Watches & Wonders Geneva 2022》の開催に際し、パテック フィリップは、マニュファクチュール パテック フィリップの2つの象徴的なコンプリケーションをまったく新しいデザインのケースに初めて統合した新作、年次カレンダー・トラベルタイム 5326G-001モデルを発表する。さらにマニュファクチュール パテック フィリップは、特に追求められるモデルのデザインをスタイリッシュに新解釈し、現行コレクションを一層充実させる。これらのニューモデルは、パテック フィリップのコンプリケーテッド・ウォッチの広範で多彩なラインナップをより完璧なものにし、常に時を超越したエレガンスを強調しつつ、婦人用、紳士用タイムピースに豊富なデザインを提供していこう。

180年にわたり蓄積され、世代から世代へと受け継がれてきた経験とノウハウを活かし、パテック フィリップは、今日100件を超える技術特許により自他共に認められる、絶え間ない技術的進歩の道を歩んでいる。この革新の伝統は、マニュファクチュール パテック フィリップの特別な資産であるグランド・コンプリケーションの分野でとりわけ顕著である。また、曜日、日付、月を表示する完全なカレンダーであり、年に一度のみ日付調整を必要とする、1996年に特許を取得した年次カレンダー、2つのタイムゾーンの時刻を表示するトラベルタイム (1997年) など、いわゆる《有用なコンプリケーション》にもそれは表れている。パテック フィリップは、独創的で操作の容易なこの2つのコンプリケーション機能を初めてひとつの時計に統合した。自動巻ムーブメント、キャリバー 31-260 PS QA LU FUS 24H (8件の技術特許) を搭載した新しい年次カレンダー・トラベルタイム 5326G-001モデルは、常に日付表示が現地時刻に同期し、タイムゾーンを変更すると、同時に日付表示が前進、後退いずれの方向にも修正される点でも際立っている。このユニークな機能にふさわしい高貴な外装を与えるために、パテック フィリップは、ケース側面全周にクルー・ド・パリ (ホブネイル・パターン)・ギョッシュ装飾を施した、まったく新しいケースを創作した。ニューモデルは、アンティークなカメラの外装を彷彿させる魅力的なディテールを備えた、ヴィンテージ・スタイルのアントラサイト文字盤を配している。このエクスクルーシブなデザインを高く評価する愛好家のために、パテック フィリップは、ケースと文字盤が5326G-001モデルと同じ美的外観を持ち、コンプリケーションを含まないタイムピースもラインナップした。この新しいカラトラバ 5226G-001モデルは自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 SCを搭載している。

きわめて現代的な《ヴィンテージ・スタイル》

パテック フィリップの包括的な遺産、とりわけジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアムに展示された膨大な数の歴史的タイムピースは、デザイナーにとって無尽蔵のインスピレーション源となっている。ここで課題となるのは、単純なコピーや旧モデルの再版ではない。目標は常に美的進化であり、過去から現在への移行なのである。このクラシックとモダンのデリケートな均衡は、2022年春、デザインを新解釈した2つのニューモデルによって完璧に披露される。1945年に製作されたモデルからインスピレーションを得、3段のラグを備えた永久カレンダー 5320G-011モデルは、その《ヴィンテージ》な面を強調する、新しいローズゴールドめっきの



《報道資料》 ページ 2

オパール文字盤を備えている。1940年～1950年のフラッグシップ・モデルからインスピレーションを得た、クラシックな紳士用クロノグラフ5172G-010モデルは、やはりローズゴールドめっきのオパール文字盤を備え、その下には、特許取得の6つの技術革新によって強化された伝統的なアーキテクチャーのムーブメントが時を刻んでいる。

タイムレスなオリーブグリーンとクラシックなグリーンの復活

パテック フィリップのコレクションには、これまでも注目に値するグリーンのカラーが登場している。2004年、コンテンポラリーなカジュアル・エレガンスを体現した婦人用タイムピース、アクアノート・ルーチェが《アドベンチャラス・カーキ》の文字盤とバンドを備えて発表され、多大な注目を浴びた。以来、わずかにニュアンスの異なるカーキ色が、いくつかのアクアノート・モデルのカラーリングの一部となっている（紳士用アクアノート5168G-010モデル、アクアノート・クロノグラフ5968G-010モデル、アクアノート・ルーチェ5267/200A-011モデル）。2021年、マニュファクチュール パテック フィリップはさらに新しい文字盤カラーであるオリーブグリーンを発表した。Twenty~4オートマチック7300/1200A-011モデルに始まり、ステンレススチール仕様ノーチラス5711シリーズの最後の2モデル（5711/1A-014と5711/1300A-001モデル）、およびステンレススチール仕様の自動巻年次カレンダー搭載フライバック・クロノグラフ（5905/1A-001モデル）のきわめてスポーティなバージョンと続いている。同年、パテック フィリップは製品レンジを拡大し、自動巻ワールドタイム・フライバック・クロノグラフ5930P-001モデルに、わずかに濃い色調のラック・グリーン・オパール文字盤センターを採用した。

今日、オリーブグリーンは、現行コレクションの3つのタイムピースに、それぞれのモデルの個性を際立たせつつ多彩に光を演出する、新しく現代的で時を超越した相貌を与えている。独創的でコンテンポラリーなローズゴールド仕様の年次カレンダー5205R-011モデルは、外周に向かって濃くなるブラック・グラデーションが文字盤に華やかさを添えている。あらゆるシーンでエレガンスを体現するTwenty~4《マンシェット》クォーツ4910/1200A-011モデルは、ステンレススチール・ケースにソレイユ文字盤を配している。この上なく洗練されたローズゴールド仕様の婦人用ワールドタイム7130R-014モデルは、文字盤センターに古風な籠の編み目をかたどった手仕上げギョシェ装飾が施されている。またパテック フィリップはクラシックを現代に蘇らせ、プラチナ仕様の永久カレンダー搭載クロノグラフ5270P-014モデルに、最も美しいヴァンテージ・カーのボディを彷彿させる、外周に向かって濃くなるブラック・グラデーションのラック・グリーン文字盤を採用した。

ワールドタイムに3つのニューバージョンが登場

パテック フィリップの著名なワールドタイムは1930年代に発表され、24のタイムゾーンすべての時刻を一目で読み取ることが可能にした。1999年に特許を取得したエクスクルーシブな機構により、10時位置のプッシュボタンを押すだけで、すべての表示を1時間単位で同時に調整することができる。前述のオリーブグリーン文字盤を備えた婦人用ワールドタイム7130R-014モデルに加え、パテック フィリップのトラベルウォッチ・コレクションには、既存のモデルに新解釈を加えた2つのモデルが登場する。ワールドタイム5230P-001モデルは、初めてプラチナ・ケースにブルーの文字盤と、これにマッチするバンドを組み合わせている。その文字盤は、特許取得のタイムゾーン変更機構を採用した最初のワールドタイムである5110モデル（2000年）からインスピレー



《報道資料》 ページ 3

ションを得た手仕上げギョシエ装飾のサーキュラー・パターンを配している。一方希少なハンドクラフトによるワールドタイム5231G-001モデルの文字盤センターは、オセアニアと東南アジアを描いた新しいクロワゾネ本七宝の地図を配している。

洗練されたジェム・セッティングの魅力

ジェム・セッティングは、パテック フィリップにとって、常に時計の美しさを強調し、高度な精密機械工学の賜物であるムーブメントを装飾する最も魅力的な方法のひとつであった。この創造性と技術・ノウハウの結びつきは、現行モデルに新たに加わった2つのバージョンに体现されている。自動巻ムーブメントとカセドラル・ゴングを搭載したグランド・コンプリケーション、ミニット・リピーター・永久カレンダー 5374/300P-001モデルは、燦めくバゲットカット・ダイヤモンドとバゲットカット・ブルーサファイヤで飾られている。婦人用ムーンフェイズ・ウォッチ7121/200G-001モデルは、ホワイトゴールド・ケース、ブルー・ソレイユ文字盤、およびブリリアントカット・ダイヤモンドを2列に交互にセッティングした、エクスクルージブな《ダンテール》(レース・スタイル) 技術によるベゼルの輝きがその美しさを強調している。

希少なハンドクラフトの豊かなコレクション

パテック フィリップは例年通り、ユニークピースとリミテッド・エディションからなる希少なハンドクラフトの豊かなコレクション(ドーム・テーブルクロック、懐中時計、腕時計)を発表する。これらのコレクションは、七宝細密画、クロワゾネ本七宝、木象嵌、手彫金など、この上なく洗練された希少なハンドクラフトの成果を余すところなく見せている。2022年の希少なハンドクラフト・コレクションは59点の作品から構成され、2022年4月6日から23日までジュネーブのパテック フィリップ・サロンで一般公開される。

PRESS